

行政報告

一 新型コロナウイルス感染症対策について

昨年一月、国内で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されて以来、国を挙げて感染症拡大防止対策が続いております。本市におきましても、昨年一月二十八日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して以来、これまでに三十九回の本部会議を開催するとともに、防府医師会をはじめとする関係機関と連携を図りながら、感染症防止対策に全力で取り組んできたところでございます。有効な治療薬の無い中、市民一丸となつて、新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための戦いを続けてまいりました。

こうした中、国が新型コロナウイルス感染症対策の決め手としているワクチン接種につつまして、医療従事者等への接種が、先週、国立病院等の医療機関から開始されたところでございます。

本市におきましても、高齢者の方から始まる市民の皆様へのワクチン接種の円滑な実施に向け、予約・相談に対応できるよう、三月一日には、二月に設置いたしました新型コロナウイルスワクチン接種対策室の更なる体制強化を図ることにしております。引き続き、防府医師会等の関係者の皆様としっかりと連携し、全力で準備を進めてまいります。

なお、ワクチン接種に係る必要な経費につつましては、この度の補正予算でも計上いたしております。

この間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国的に様々なイベントが延期や中止となっております。

本市におきましても、年末の防府読売マラソン大会をはじめ、消防出初式や市内一周駅伝競走大会が大幅な規模の縮小を余儀なくされ、成人式につつましては、

五月三日へ延期することにいたしました。こうした中、伝統の読売マラソンにおいては、川内優輝選手の活躍や、道下美里選手の世界新記録が生まれるなど、全国に元気を発信でき、さらにはコロナ禍における大会運営が評価され、世界陸連から福岡国際マラソンと同じ「エリート・ラベル」の認定をいただいたところでございます。

これも、市民の皆様のおかげだと思っております。今後、百回大会を目指し、市民の皆様とともに取り組んでまいります。

二 公益財団法人 山口・防府地域工芸・地場産業振興センターの解散について

昭和六十三年に設立され、デザインプラザHOFUの愛称で長年親しまれてきました「公益財団法人山口・防府地域工芸・地場産業振興センター」につきましては、先に開催された理事会及び評議員会におきまして、来年一月一日に解散することが決定されました。

同法人は、山口・美祢・防府地域の地場産品の展示・販売や中小企業者の相談対応等を行うために設立され、これまで地域産業経済の活性化に寄与してまいりました。しかしながら、時代の流れとともに利用者が大幅に減少し、市からの多額の補助金を必要とする大変厳しい経営状況となっております。こうした中、この度、関係者が協議し、設立所期の目的は達成したとされ、解散となったものでございます。本市といたしましては、今後、デザインプラザHOFUが防府市の新たなニーズである創業支援拠点となるよう、取り組んでまいります。

以上二点、御報告申し上げます。新型コロナウイルスワクチンの接種におきましては、一人でも多くの市民の皆様にはワクチンの接種を受けていただけますよう、議員の皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。